





多様な学びから考える

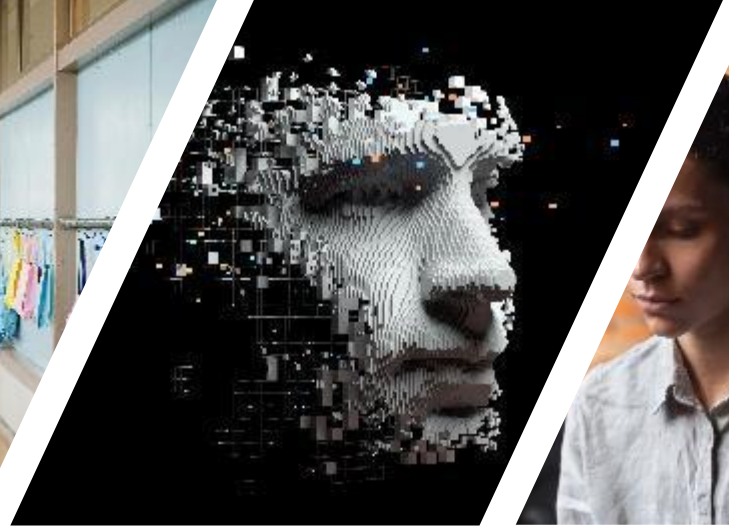
「学び続けられるまち 和光」

AI時代における子供の学びと成長

R8.9.30 和光市教育委員会 学校教育課







1．なぜ今、多様な学びなのか

社会の変化

- AI
- 不登校増加
- 多様な価値観
- 少子化
- 次期学習指導要領…



問い

学校は何を保障する場所なのだろうか

2．国はどこへ向かおうとしているのか







多様な子供たちの深い学びを保障し、主体的に人生を切り拓く力を育む

【キーワード】

- **多様性・包摂（Inclusion）**
  一人一人の違いを尊重し、誰もが学びに参画できる教育
- **深い学び（Learning）**
  知識を活用しながら、自ら問い、考え、本質に迫る学び
- **主体性・エージェンシー（Agency）**
  自ら選び、判断し、人生や社会を切り拓いていく力
- **学び続ける力（Lifelong Learning）**
  変化の激しい社会の中で、生涯にわたって学び続ける力

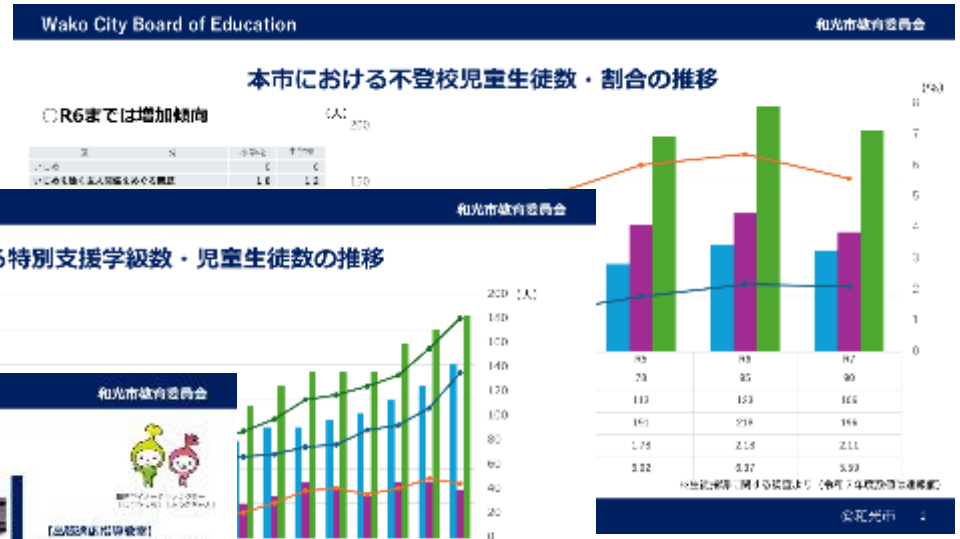
「何を学ぶか」から「どう生きるか」へ



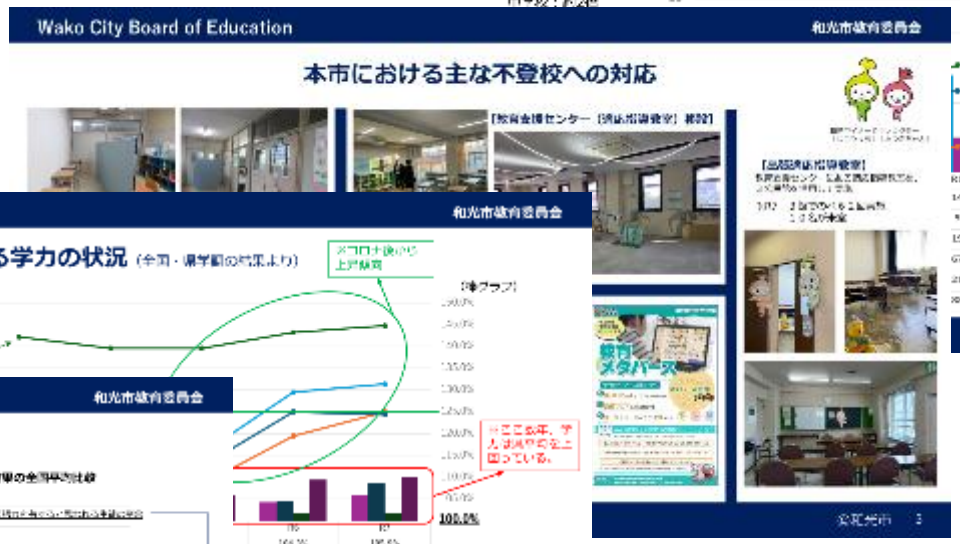


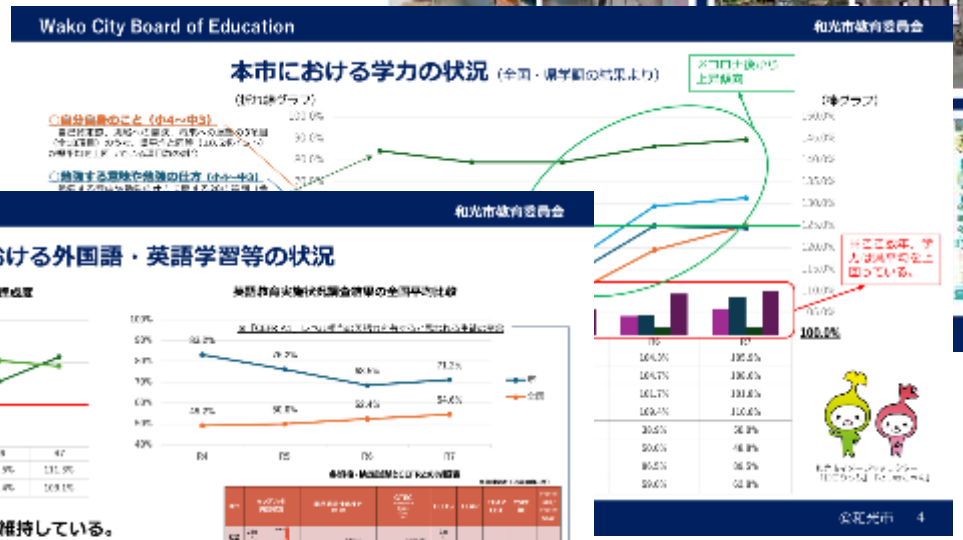
３．和光市は
すでに歩み始めている

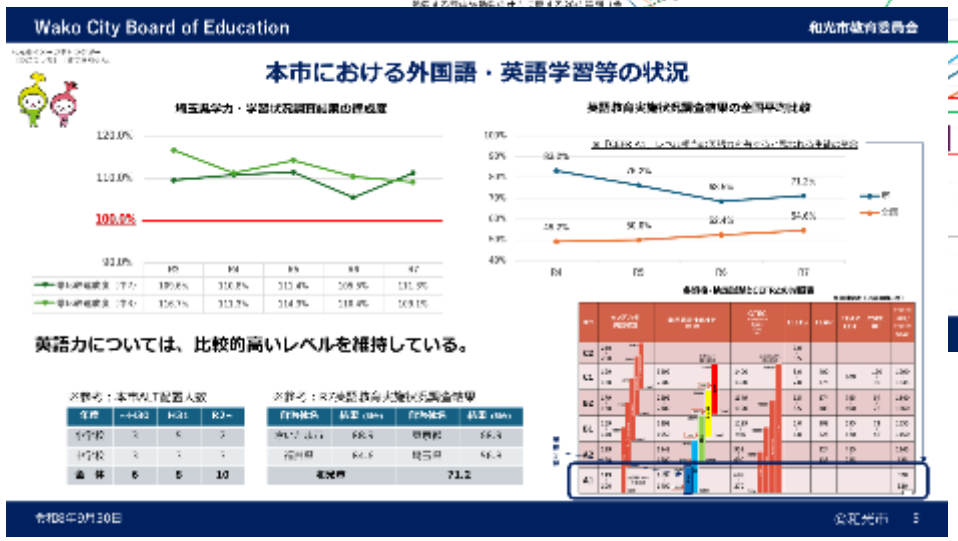
本市の学校教育における現状について確認











- 不登校の現状
- 特別支援教育の現状
- 学力向上
- 外国語・英語教育

３．和光市は
すでに歩み始めている

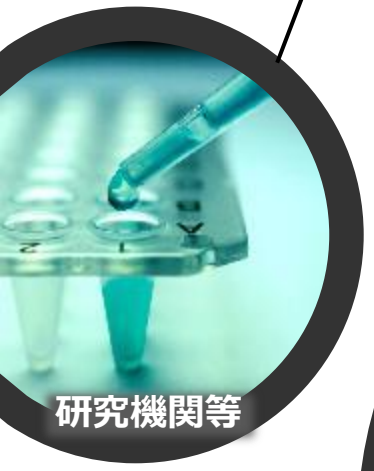
【展開される様々な学び】















多様な学びは、新しい施策ではなく、和光市が積み重ねてきた方向性

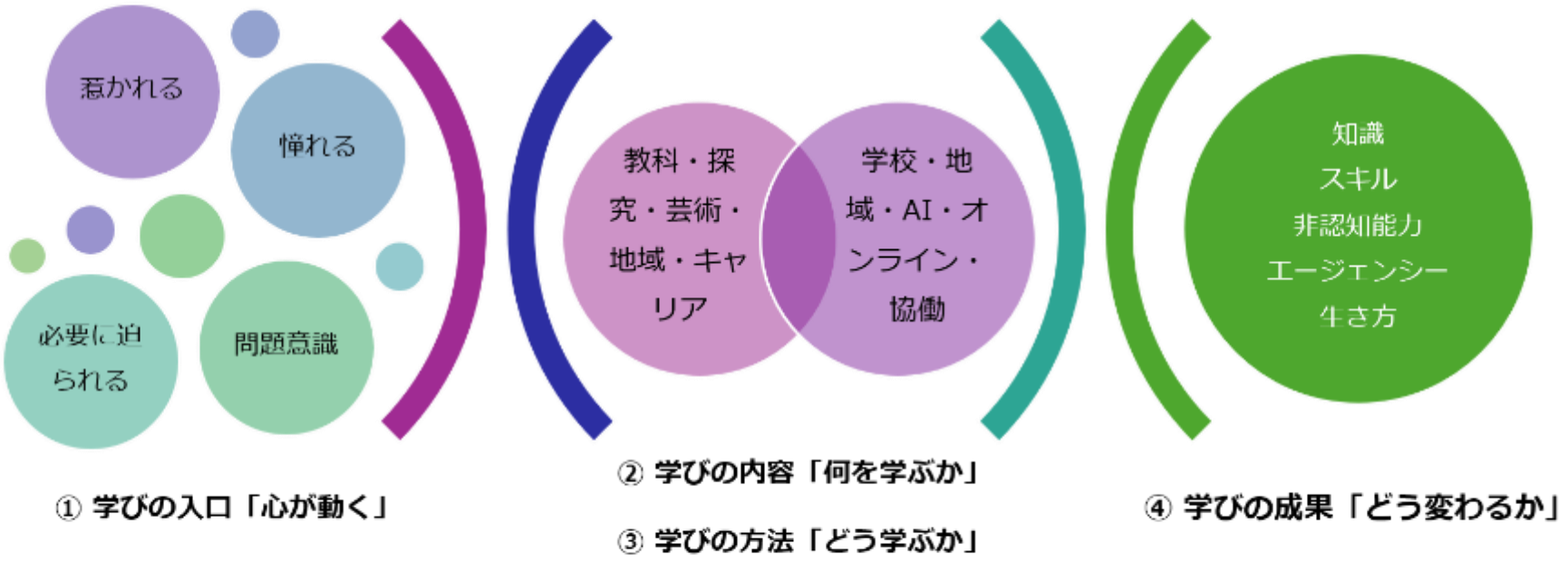




４．多様な学びとは何か







多様な学びとは、学習内容や学習方法を多様化することだけではない。
子供一人一人が、心を動かし、学び、成長し、**自らの人生を切り拓いていくプロセス**そのものである。

5．例えばこんな学びとか…。

安平町立早来学園（北海道）

- **地域の人々や仕事との関わり**を通して、子供たちが「自分は地域や社会とどう関わり、生きていくのか」を考える学びを大切にしている。
- **探究学習**と**キャリア教育**を一体的に進める実践として注目されている。



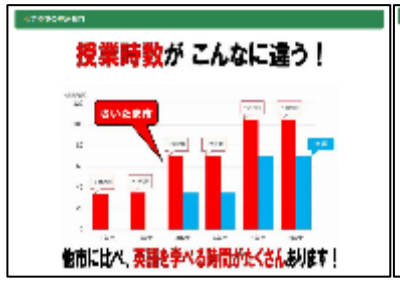


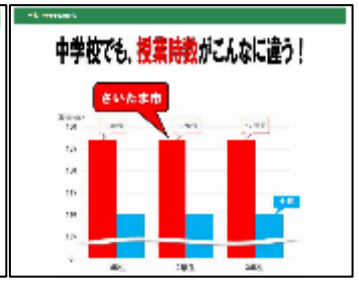


大阪市立大空小学校

- 子どもを学校に合わせるのではなく、**一人一人の違いを前提とした学校づくり**
- **自治活動**や**対話**を重視し、子供同士が支え合いながら成長する学校文化を育んでいる。
- 多様な学びの場を増やすことだけでなく、**多様な子どもたちが共に学べる環境づくり**







さいたま市「グローバルスタディ」

- 小学校1年生から中学校3年生までを見通した**9年間の英語教育カリキュラム**
- 「英語を学ぶ」だけでなく、**「英語で伝え合う力」の育成**を重視している。



伊那市立伊那小学校（長野県）

- 子供の興味・関心を出発点に、自然や地域との関わりを通して主体的に学ぶ**探究的な学びを実践している。**
- 子供一人一人の「学びたい」を大切にする実践として全国的に知られている。

6．学びを支えるとは







これまで

- 学校
- 支援センター
- フリースクール
- AI
- 地域

これから

- ポートフォリオ
- 学習履歴
- AI活用
- 自己調整学習

- 承認
- 自己肯定感
- 自己決定感

学びの承認と評価

学びの可視化

多様な学びの場

多様な学びを支えるとは、学びの場を広げることだけではない。**子供一人一人の成長を見つけ、認め、次の学びへとつなげていく**ことである。













和光市は、子ども一人一人の
「学びたい」「やってみたい」
「もっと知りたい」を、どのように支えていきますか。



おわりに